

本学会が2020年4月8日にホームページで公表した「新型コロナウイルス感染対策としての空調設備を中心とした設備の運用について」は、国際ジャーナル **Building and Environment** のレビュー論文に引用された。この論文 (Review and comparison of HVAC operation guidelines in different countries during the COVID-19 pandemic) は中国の同済大学と米国のコロラド大学の共著である。2020年6月執筆時点での中国のほか、主要国・地域として REHVA (Federation of European Heating, Ventilation, and Air Conditioning Associations、欧州空調換気設備協会)、ASHRAE (American Society of Heating Refrigerating and Air-Conditioning Engineers、アメリカ暖房冷凍空調学会)、SHASE (本学会) が取り上げられ、それぞれの COVID-19 世界大流行期間中における空調・換気システムに関するガイドラインや運用方法が比較されている。

空調・換気システムの運用については、各国・地域間における外気の取り入れ、空調・換気システムの運転、温湿度の設定、室間の差圧、空調機内のフィルタ、空気浄化 (UVGI、空気清浄機等)、全熱交換器などの比較が行われている。比較対象の全ては共通して換気的重要性を強調している。詳細については本文を参照されたい。

**Building and Environment** は建築設備・環境分野のトップレベルのジャーナルである。2019年のインパクトファクターが4.971であった。本論は下記の URL からダウンロードできる。

<https://doi.org/10.1016/j.buildenv.2020.107368>